

コテライザー 70

取扱説明書

世界が認めた国際特許/U. S. PAT. 4. 500. 027

JAPAN. PAT. 1236726

警告 ご使用前に必ずお読みください。

このたびはコテライザー70をお買い上げいただき誠に有難うございます。
本品はブタンガスを使用した熱器具です。怪我や事故を防止するため、使用方法、
注意事項を良く読んで理解してから使用してください。また、この取扱説明書は必ず
保存してください。

ご使用上の注意

- ① ガス注入は火気のある所では行わないでください。
- ② 換気の悪い場所では、使用しないでください。
- ③ 電気ゴテ用の筒型コテ置台を使用しないでください。熱がこもり、ハンドルを焦がし火災の原因になります。
- ④ あやまって落としたり、ぶついたりして強いショックを与えた場合は製造元サービスセンターに御相談ください。
- ⑤ 燃料には必ず当社の純正ガス（工業用無臭液化ブタンガス）を使用してください。
- ⑥ 作業の中断または、使用後は確実にガスを止めてください。
- ⑦ 使用中に燃焼部分や高温金具等に手や身体を触れないでください。
- ⑧ 燃焼部分に水をかけないでください。
- ⑨ 勝手に分解や改造をしたり、当社以外の部品を装着しないでください。
- ⑩ アルコールやアルコールベースのクリーナーでガス確認窓を拭かないでください。

保管上の注意

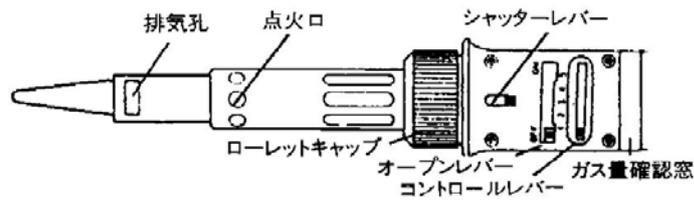
- ① 40℃以上の所や直射日光のあたる場所には置かないでください。
- ② 車中での保管、特にフロントガラス等の窓のそば及びトランクルーム内の保管はおやめください。ガス圧が高くなり、火災・爆発の原因になります。
- ③ 幼児の手の届かない所に保管してください。
- ④ コテ先及びホットブローが冷えたのを確認して収納してください。



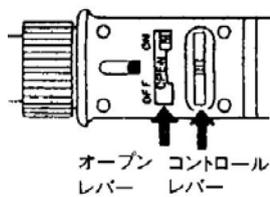
ご使用前に

ハンドルの透明なガス確認窓を見て、液化ガスが入っていることを確認してください。少ない場合は、専用のガスを図のように注入してください。

半田ゴテとして使う場合

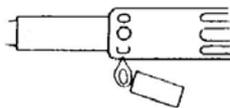


- ① 図のように排気孔と点火口、シャッターレバーを同一の向きにして使用します。
シャッターレバーを下にすると点火口が開きます。
排気孔からは、熱風が出ますので、身体や物が触れないように注意してください。
- ② コントロールレバーを3の位置に合わせてください。

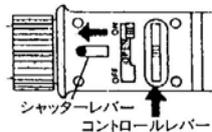


ただし

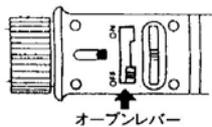
- 暑い時期/場所：コントロールレバー3から左側に
 - 寒い時期/場所：ガス注入直後はコントロールレバー3から右側に動かして調節してください。
- ③ オープンレバーをONの位置にしてください。



- ④ 点火口にライター等で点火します。点火口の内部が赤くなるのを待ちます。(4～5秒)

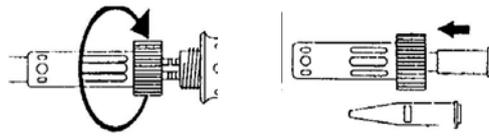


- ⑤ 内部が赤くなりましたら、シャッターレバーを上げて、点火口を完全に閉めます。
これで炎が消えて、ガスが触媒に反応し熱に変わります。
(炎が完全に消えた状態で使わないと、コテ先の中の触媒の寿命を縮めます。)



- ⑥ 消すときは、ガスのオープンレバーをOFFにします。
注意：コントロールレバーではガスは止まりません。

ホットブロー（熱風器）として使う場合

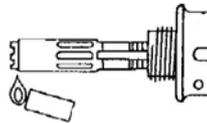


ハンドル上部のローレットキャップを右にまわして、半田コテ先をはずし、ホットブローチップを取り付けると熱風器になります。操作方法は半田ゴテと同じです。

また先端から熱風が出ますので身体や物が触れないよう注意してください。

注意：ホットブローチップ先端に火をつけないでください。着火は点火口で行います。

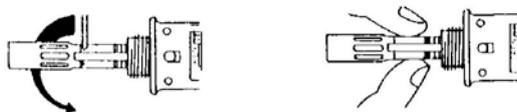
トーチとして使う場合



ハンドル上部のローレットキャップをまわして、コテ先をはずし図のように点火します。シャッターレバーは下げて使用します。さらに火の強いトーチを必要とする場合は拡大トーチエゼクター品番70-07TU（N-70Aの場合別売品）をお使いください。ガスの出し方、炎の調節は半田ゴテの場合と同じ方法でご使用ください。

- 使用中（特に下向きで使う場合）炎が飛んだり、消えたりする時はガスの出過ぎですから、コントロールレバーを調節してください。
- トーチ使用中シャッターレバーを中間に上げるとローソク火となり、あぶりができます。

エゼクターを交換する場合



ガスがつまった時はエゼクターユニットを交換します。

- ① 専用のスパナを図のようにエゼクターの穴に差し込み右にまわすとコテ先用エゼクター（先端が山型）がはずれます。
- ② 図のように拡大トーチエゼクター（先端が平ら）を差し入れ左にまわすと締め込まれますので、さらにスパナでガスが漏れない程度に軽く締め込んでください。
(半田ゴテ用エゼクターとトーチ用エゼクターは、その使用目的にあわせてご使用ください。)

こんな時どうする？

状 態	原 因	処 理
着火しない。	① ガスが入っていない。 ② エゼクターのノズル孔が つまっている。 ③ ガスの吐出量が多すぎる。	① ガスを注入してください。 ② 新しいエゼクターと交換してください。 ③ ガス・コントロールレバーでガスの吐出量 を調節してください。
トーチとして使用の場合、シャ ープな炎が出てこない。	① ガスの量が少ない。 ② エゼクターの内部に異物 が付着している。 ① シャッターが中間位置に なっている。	① ガスを注入してください ② 新しいエゼクターと交換してください。 ① シャッターレバーを完全に下げてください。
コテ先およびホットブロー装 着時、点火口を閉じて炎が消 えない。	① ガスの吐出量が多すぎる。 ② コテ先またはホットブロー ーの後部が正しく装着さ れていない。	① コントロールレバーでガスの吐出量を調 整してください。 ② コテ先またはホットブローを再度入れ直 してください。
コテ先またはホットブローの 温度が上がらない。	① 触媒の寿命。 ② ガスの量が少ない。 ③ エゼクターの内部に異物 が付着している。	② 新しいコテ先またはホットブローと交換 してください。 ③ ガスを注入してください。 ④ 新しいエゼクターユニットと交換してく ださい。

故障その他については、販売店かサービスセンターにご連絡ください。

NAKAJIMA

中島銅工株式会社

上福岡本社工場 〒356-0035 埼玉県ふじみ野市丸山10-1
TEL.049 (261) 1693 FAX.049 (262) 5421

嵐山工場 〒355-0225 埼玉県比企郡嵐山町鎌形683
TEL.0493 (62) 7295 FAX.0493 (62) 3895

液化ガス事業部サービスセンター

<http://www.nakajimadoko.co.jp>

E-mail: gas-info@nakajimadoko.co.jp